



SKETCH
HOIKUEN

発行日 令和7年7月1日

スケッチ保育園

暑い日が続くようになり、熱中症が心配な時期となりました。体が暑さに慣れていない梅雨明けや急激に気温が上がった日は特に注意が必要です。普段からの外遊びで体を鍛え、喉がかわいていなくても水分をこまめに摂取するようにしましょう。

プール前チェック！

- ・爪は伸びていませんか？
- ・皮膚に異常はありませんか？
- ・熱はありませんか(熱が引いた後、2日以上経っていますか)？
- ・鼻水や咳は出ていませんか？
- ・目やにや充血はありませんか？
- ・食事や睡眠はとれていますか？



虫除け対策

子どもは皮膚の抵抗力が弱いので、虫刺されが原因で、とびひなどの皮膚病になってしまうことがあります。網戸に虫除けスプレーをしたり、虫の嫌う香りのローズマリーの鉢を置いたり、虫除けパッチやリストバンドを身に付けさせるなど、ご家庭でも簡単にできる虫除け対策を行きましょう。また、外出時や登園前に虫除け(スプレータイプやウェットティッシュタイプなど)を行うのも効果的です。



夏に多い感染症 : ウイルス感染によって起こる病気です。他人への感染力が強いので必ず受診をして医師の診断を受けましょう。

ヘルパンギーナ: 突然の高熱とのどの痛み、口の中の水ぼう、口内炎が特徴です。症状が軽ければ1~4日で解熱します。

プール熱: プールで感染することもあり、高熱が3~5日くらい続き、のどの痛み、目の充血やかゆみなど結膜炎のような症状も出ます。食事は消化のよい物を食べましょう。

手足口病: 手の平、足の裏、口の中に水ぼうがで、発熱することもあります。食事は喉越しの良いものを食べましょう。

流行性角結膜炎: 目が腫れ、充血し、普段より多く目やにや涙が出ます。周りの人への感染源となるのでタオルは共有しないようにしましょう。